

【本校において目指す生徒像】

- ① 学習習慣を身に付け、基礎学力の定着を図り、主体的に学習に取り組む生徒。
- ② 挨拶・言葉遣い・服装容儀などについてのぞましい生活習慣を持つ、心豊かな生徒。
- ③ コミュニケーション能力（聞く力・考える力・表現して伝える力・反応力）を身につけた生徒。

【学習指導方針（スクールポリシー）】

（１）授業規律を確立し、学習環境を整えることで、確かな学力の育成を図る。

授業の始まりと終わりの挨拶をしっかりと行う、服装を整えて授業を開始する、級友と協力しながら積極的に学習に取り組む、授業の開始時間や課題の提出期限を守るなど、学習規律を守り、主体的に学ぶ姿勢を確立する。授業を中心に据えた着実な学習により学力の向上を図るとともに、将来社会人として必要とされる資質を育む。

（２）興味・関心を引き出し、成功体験を積みせ、自己肯定感を高める。

I C TやA L (アクティブラーニング)を一層推進し、学習意欲を喚起する教材の開発・指導法の工夫に教科会として組織的に取り組み、これらの教材や指導法を共有することで、生徒の基礎学力の定着を図る。「わかった」「できた」「興味が湧いた」といった成功体験を積みせながら、自己肯定感を高め、学力向上に繋げていく。さらに学力の到達度に応じて、応用問題などのレベルにまで学習範囲を広げて、個々の生徒に応じた目標の達成に努める。

（３）生徒主体の学習活動により、コミュニケーション能力の向上を図る。

ペア学習やグループ学習などの協働的学習を積極的に取り入れて、学習活動の中で他者の話を聞く力、他者の意見を踏まえて考える力、その考えを表現して伝える力、質問に反応し応答する力を付けていく。また、発表の機会を多く設けるなど言語活動を意識して取り入れ、コミュニケーション能力の向上を図る。他者と係わりながら学ぶ経験を積むことで、自己理解・他者理解を深め、心の豊かさを培う。